

2022年度 父母説明会

管理栄養学科

管理栄養学科 教務委員
野村知未 原島恵美子

必修科目と選択科目

必修科目(◎):必ず単位を取得しなければならない→卒業できない

選択科目(○):必ずしも単位取得しなくてよく、他の科目を選んでもよい

注意！！

管理栄養学科の専門科目の一部は○であるが、管理栄養士国家試験を受けるには、必修である科目がある

授業科目の成り立ち

1. 共通基盤教育科目(1～2年)
 - 全学科ほとんどが共通
 - 英語も含まれる
 - 必修と選択がある
2. 専門基礎導入科目・専門基礎科目(1～2年)
 - 学科独自科目
 - 必修がほとんどである
3. 専門科目(2年～4年)
 - 学科独自科目
 - 必修と選択がある

管理栄養学科 授業科目配当表

(履修要綱から抜粋)

◎必修科目、○選択科目

教育区分	授業科目	必選別	単位数	週時間数									
				1年		2年		3年		4年			
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門基礎導入	化学基礎	◎	2	2	}								
	化学基礎実験	◎	1	2									
	生物学概論Ⅰ	○	2	2		1年前期に履修する科目							
	生物有機化学	○	2	2									
	生命科学概論	◎	2		2	←1年後期に履修する科目							

本学における標準的な修得単位数

- 1年次終了時: 40単位以上
- 2年次終了時: 80単位以上
- 3年次終了時: 116単位以上
- 4年次終了時: 124単位以上

(前期終了時の修得単位数に履修中の単位を加える)

卒業までの3つの関門

1) 卒業研究履修の資格

この資格が取れないと卒業研究(4年必修)が履修できない

2) 卒業要件

合計 124単位以上

3) 管理栄養士国家試験受験資格

1) 卒業研究履修の条件

- 3年次終了までに所定の科目の単位を修得していないと、4年次に卒業研究を履修することができない。



留年

卒業研究履修(着手)の資格

- 4年次において卒業研究を履修するためには、次の条件を満たしていなければならない。
 - 3年次終了時の必要単位数 104単位
(共通基盤教育:23単位以上を含む)
 - 修得していなければならない科目(次のスライド)
 - 共通基盤教育科目
 - 専門基礎導入科目
 - 専門基礎科目
 - 専門科目

卒業研究履修にかかわる科目

3年次終了時までには修得していなければならない科目

(区分)	(科目)	
共通基盤教育科目	スタディスキル 身の回りの数学 実感する科学Ⅰ 情報リテラシー	4科目
	英語Ⅰ、英語Ⅱ 英語Ⅲ、英語Ⅳ 英語Ⅴ、英語Ⅵ	6科目中2科目
専門基礎導入科目	化学基礎 化学基礎実験 生命科学概論	3科目

※1年次配当科目、2年次配当科目

3年次終了時までには修得していなければならない科目

専門基礎科目

栄養生命科学概論
 健康管理論
 公衆衛生学
 解剖生理学Ⅰ
 解剖生理学Ⅱ
 解剖生理学実験
 生化学Ⅰ
 生化学Ⅱ
 生化学実験Ⅰ
 食品学Ⅰ
 食品学Ⅱ
 食品学実験Ⅰ
 食品衛生学
 食品衛生学実験
 調理学
 調理学実習Ⅰ
 調理学実習Ⅱ

専門科目

基礎栄養学
 基礎栄養学実験
 応用栄養学Ⅰ
 応用栄養学実習
 栄養教育論Ⅰ
 栄養教育論Ⅱ
 栄養教育論実習Ⅰ
 臨床栄養学Ⅰ
 臨床栄養学Ⅱ
 臨床栄養学実習Ⅰ
 臨床栄養学実習Ⅱ
 公衆栄養学Ⅰ
 公衆栄養学実習
 給食経営管理論Ⅰ
 給食経営管理論Ⅱ
 給食経営管理実習

33科目中31科目

※ 1年次配当科目
 2年次配当科目
 3年次配当科目
 全て必修科目

卒業研究履修(着手)条件の確認

※学業成績表の集計表

区分	卒業要件	修得単位					合計	卒業不足	卒研不足	履修中
		1年	2年	3年	4年	認定				
導入系										
倫理系										
人文社会系										
倫理人社自由										
健康スポーツ系										
英語基礎系										
中略										
専門 選必										
専門 選択										
専門教育選択										
任意										
総合計							注1	注2	注3	注4
卒研着手条件科目不足科目数 (注5)										
GPA (注6) 学期末 () 累計 ()										
担当教員 (注7)										

<注意すべき箇所>

注1…今学期までに修得（合格）した単位数

注2…卒業する為に不足している単位数

注3…卒業研究に着手する為に不足している単位数

注4…後期に履修している単位数

（もしくは成績判定中科目：成績表の評価欄では○表記）

注5…卒業研究に着手する為に不足している条件科目数

注6…GPA（Grade Point Average）成績を数値化したもの

【Campus Life Guide 2022 履修・授業編 p.101-102参照】

注7…担当教員 1～3年生は、クラス担任

担当教員 4年卒研着手者は、卒研指導教員

上記注意すべき箇所の数字(単位数/科目数)について、裏面のご案内と照らし合わせてご確認ください。

3年次終了までに注3と注5を「0」にしないと卒業研究に着手できない＝卒研未着＝4年次留年

CAP制度と履修について

(Campus Life Guide 2022 履修・授業編 p.83)

- 履修単位の**上限を設定**する制度

事前事後学修(予習復習)に必要な時間を十分に確保するため

自分の学業状況に見合った履修科目数を設定し無理をしない。

過剰な履修科目数の設定は、それに伴い多くの事前事後学習が要求され、さらに同時期に多数の科目の定期試験が集中する。

- 上限履修単位数：**年間48単位、半期26単位**

例)前期に26単位取得したら、残りは $48-26=22$ となるため、後期は22単位の取得しかできない。

仮に1年次終了時の修得単位が0単位だった場合、残りの3年間で、年間48単位を修得すると、合計144単位の修得となり卒業要件単位数124単位を超えるが、CAP制限により2年次と3年次の2年間では最大96単位となり、着手に必要な単位に不足がある為4年間での卒業はできない。

2) 卒業までに必要な単位（履修要綱参照）

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	必修	2	
	人文社会系	a群	選択	4
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	英語基礎系		選択	4
	言語応用系		選択	3
	数理情報系		必修	6
		(小計)	(27)	
専門教育		必修	64	
		選択	29	
		(小計)	(93)	
任意			4	
合計			124	

*注1

注1)任意とは、以下の修得単位を示す。

・1～3年生

: 共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、
Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職に関する一部習得単位

・4年生(2019年度入学生)

: 共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、
Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職・学芸員課程に関する一部習得単位

3) 管理栄養士国家試験受験資格 (履修要綱参照)

「国家試験受験資格を得る」とことと
「卒業できる」とことは異なる。

以下の科目は「選択(○)」となっているが、国家試験受験資格を得るためには、履修しなければならない。

生化学実験II
微生物学
微生物学実験
病理病態学I
病理病態学II
食品学実験II

応用栄養学II
応用栄養学III
栄養教育論III
栄養教育論実習II
臨床栄養学III
臨床栄養学IV

公衆栄養学II
臨地実習(3単位:複数年次)
総合演習
管理栄養士基礎セミナー
専門演習I
専門演習II

※1年次配当科目、2年次配当科目、3年次配当科目、4年生配当科目

臨地実習

- ① 給食運営臨地実習 (2年後期～1週間) ※必修
必要科目: 給食経営管理論IおよびII・食品衛生学・給食経営管理実習
- ② 臨床栄養A臨地実習 (3年後期～3週間)
必要科目: 臨床栄養学I～IV・臨床栄養学実習IおよびII・給食運営臨地実習
- ③ 臨床栄養B臨地実習 (3年後期～2週間) 及び
必要科目: 臨床栄養学I～IV・臨床栄養学実習IおよびII・給食運営臨地実習
給食経営臨地実習 (3年前期～1週間) または
必要科目: 給食運営臨地実習
公衆栄養臨地実習 (4年後期～1週間)
必要科目: 健康管理論・公衆衛生学
公衆栄養学 I および II・公衆栄養学実習・給食運営臨地実習

管理栄養士国家試験受験資格を得るには①および、②または③の履修が必要。

それぞれの実習の必要科目が履修されていないと実習に出られない

⇒次の学年と同時にでることとなる。

1年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
未修得の単位(科目)は来年度以降に再履修。
- 1年生後期は必修科目が多い。
計画的に単位を取得すること。
学年が上がるほど、時間割の都合上「再履修」が難しくなるので、必ず、**正規の開講時期に単位修得**できるよう、努力すること。

2年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
- 再履修科目が複数の学生
どの授業を履修するかによって、卒業研究履修(着手)ができなくなる可能性がある。履修について 不明な点は、担任や教務委員に相談すること。

3年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
- 卒研着手条件科目不足科目数を確認。
- 3年次末の成績により、卒研未着手が確定した場合、**研究室配属は取り消し(実質的に留年)**となる。
- 臨床栄養臨地実習の日程のため、後期前半は、専門科目について前倒し授業を行う。1週間に2回同じ科目が開講される。

4年生

- 前期の取得単位(科目)を確認。
- 卒業に必要な単位が1単位でも欠けた場合、卒業できない。
- 国家試験受験資格科目が欠けた場合、受験できない。
- 4年では、すべての科目が受講可能。下位学年の選択科目を受講することも可能。

お願い

1. 対面式授業に変更

2022年度後期の授業より、リアルタイム式授業の多くを、対面式授業に変更。

1限から始まる曜日が多い。道路交通状況に注意。

2. アルバイト

管理栄養学科は履修科目が多く、学業とアルバイトとの両立が難しい学生もいる。

学業中心の学生生活が送れるよう援助していただきたい。

お問い合わせ

- 学生生活・家庭・進路のことについての相談
1～3年生、卒研未着手者はクラス担任
4年卒研着手者は卒研指導教員
- 授業についての相談
管理栄養学科 教務委員
 - 原島恵美子 (C6号館・310号室)
harashima@bio.kanagawa-it.ac.jp
 - 野村知未 (C6号館・306号室)
snomura@bio.kanagawa-it.ac.jp